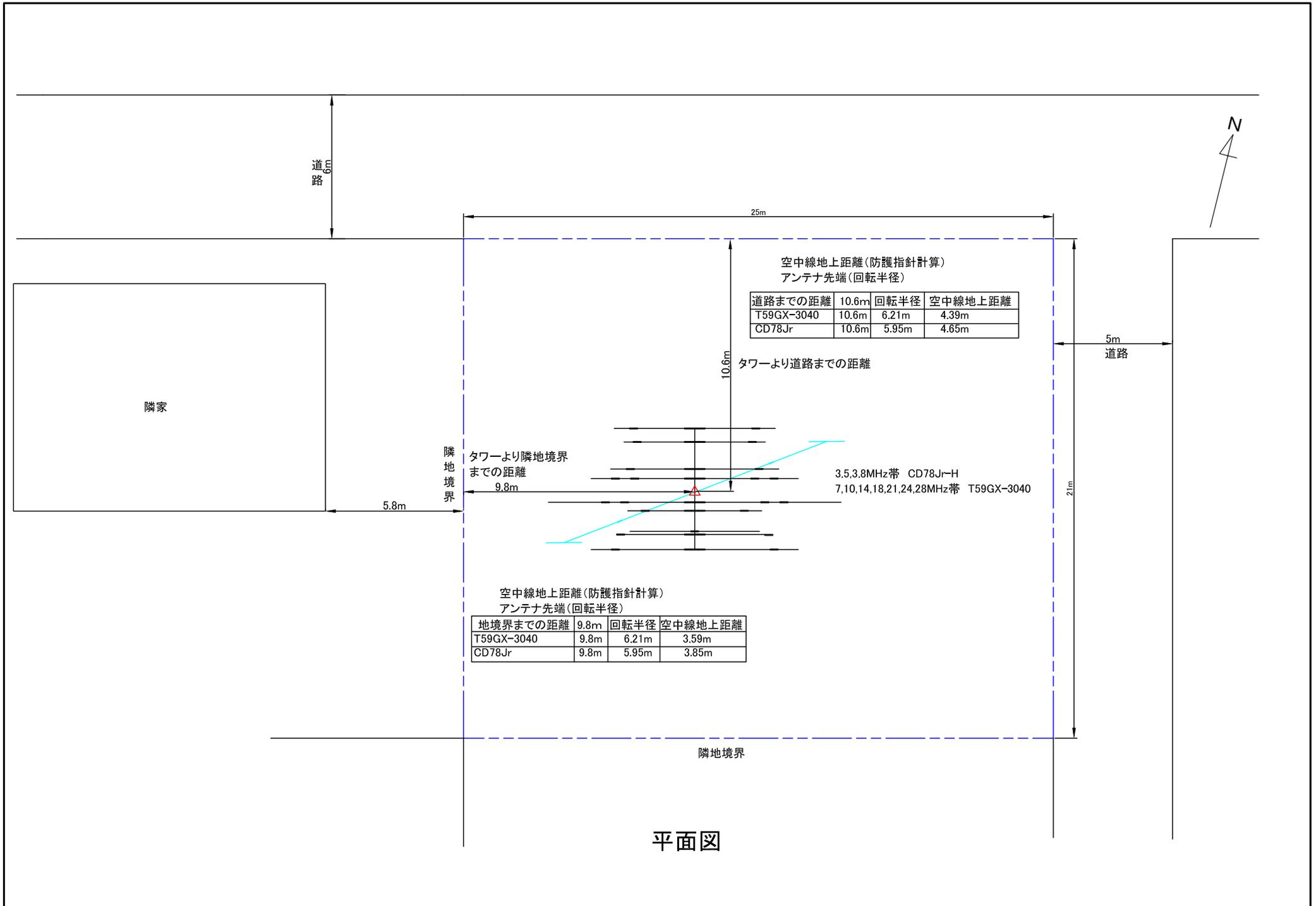


1KW申請書類作成に必要な書類

- 1 無線局免許状
- 2 無線従事者免許証
- 3 申請する無線機、リニアアンプの型式、出力
マニュアル(取扱説明書)付属の送信機系統図
- 4 変更申請(届)書、事項書、設計書等
この書類についてはJK1IQK鈴木氏の下記HPより
局免印刷をダウンロードして作成されると便利です。

<http://www.ne.jp/asahi/radio/jk1iqk/>
- 5 50MHzで1KW申請される場合は添付のような理由書が必要になります。
- 6 メーカー製アンテナを使用して防護指針計算を行った場合は
そのメーカーのアンテナの利得等の載ったページのコピーの添付が必要です。
防護指針計算書は先の鈴木氏の局免印刷にもありますが
総合通信局のHPからダウンロードしたエクセルプログラムの
使用をお勧めします。HPは下記となります。

http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/ru/ama/faq/ama_11.html
計算に使う俯角減衰データはクリエートデザイン様 ナガラアンテナ様は
用意されていますが他メーカー(外国製含む)の場合は俯角減衰量の値が 0 での
計算になります。
- 7 別紙添付の一覧にある各種図面 これはフリーハンドでもOKです。
添付地図についてはHPよりコピーでOKです。



空中線地上距離(防護指針計算)
アンテナ先端(回転半径)

道路までの距離	10.6m	回転半径	空中線地上距離
T59GX-3040	10.6m	6.21m	4.39m
CD78Jr	10.6m	5.95m	4.65m

10.6m
タワーより道路までの距離

隣地境界
タワーより隣地境界
までの距離
9.8m

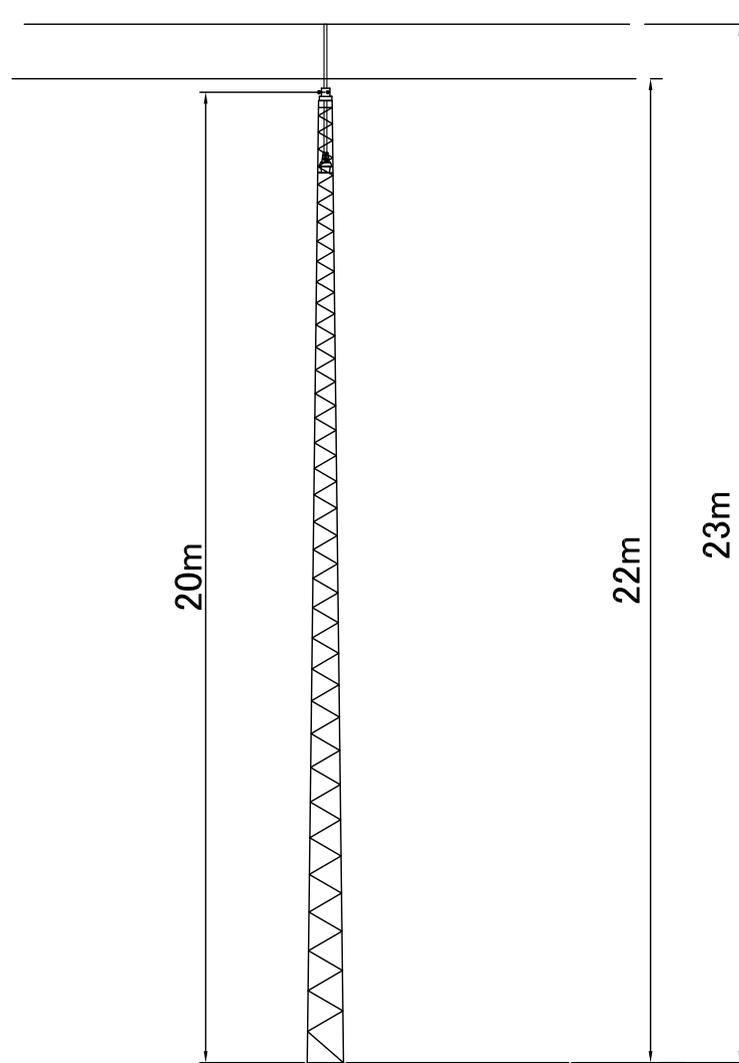
3.5,3.8MHz帯 CD78Jr-H
7,10,14,18,21,24,28MHz帯 T59GX-3040

空中線地上距離(防護指針計算)
アンテナ先端(回転半径)

地境界までの距離	9.8m	回転半径	空中線地上距離
T59GX-3040	9.8m	6.21m	3.59m
CD78Jr	9.8m	5.95m	3.85m

隣地境界

平面図



3.5,3.8Mhz帯 CD78Jr-H

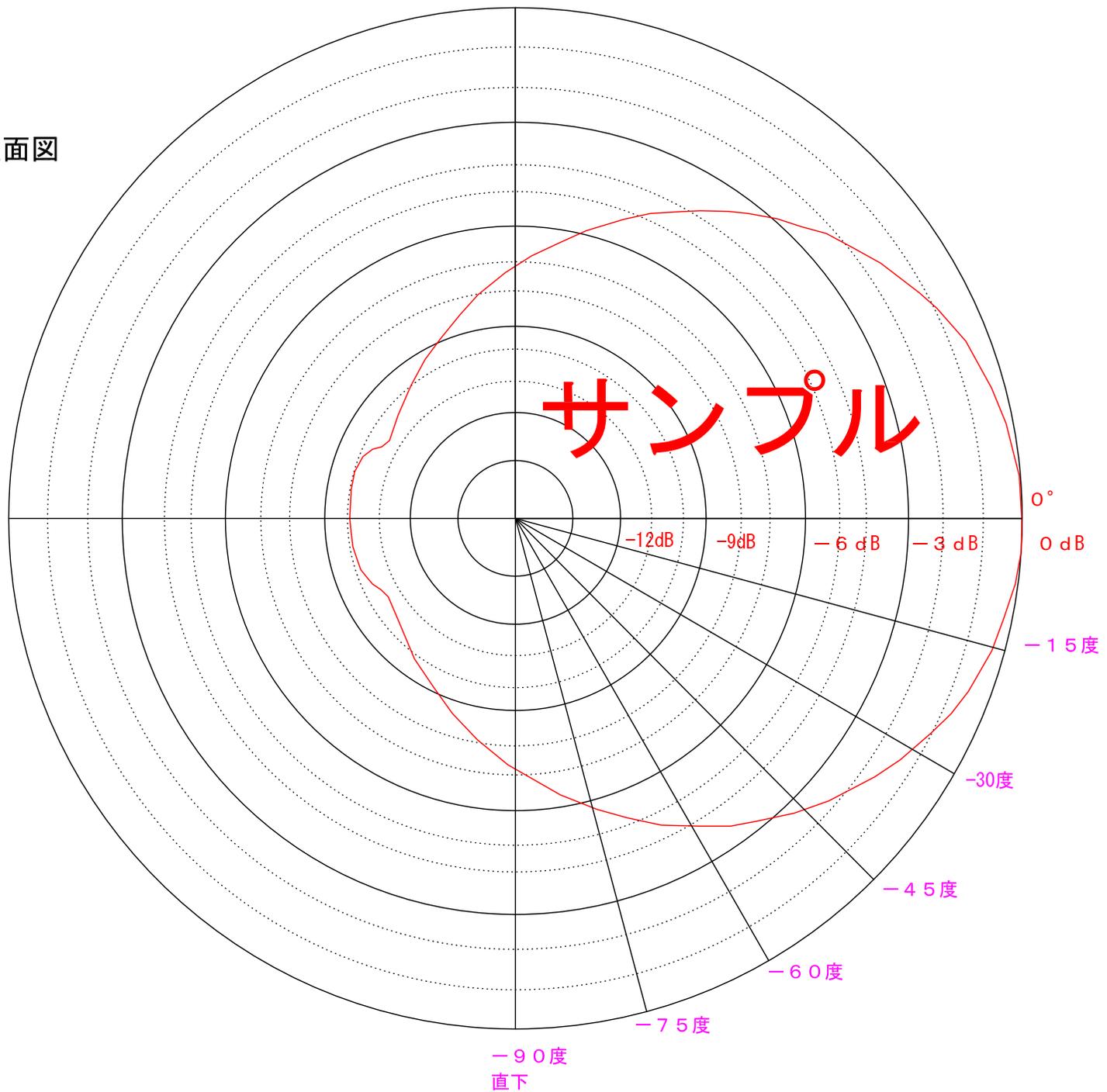
7,10,14,18,21,24,28MHz帯 T59GX-3040

空中線高(防護指針計算)

	アンテナ高	人の高	空中線高
CD78Jr-H	23m	2m	21m
T59GX-3040	22m	2m	20m

立面図

アンテナ垂直面図



作成年月日:

氏名:

コールサイン:

電波防護指針に基づく電界強度確認表 (アマチュア用)

周波数帯	1.9MHz帯	3.5MHz帯	3.8MHz帯	7 MHz帯	10 MHz帯	14 MHz帯	18 MHz帯	21 MHz帯	24 MHz帯	28 MHz帯		
定格電力P[W]		1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000		
給電線損[dB]												
空中線利得G[dBi]		0.00	0.00	1.95	1.95	7.15	7.48	7.55	7.90	7.75		
平均電力率		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
俯角減衰量[dB]						5.8	5.8	5.8	5.8	5.8		
空中線高[m]		21.0	21.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0		
空中線地上距離[m]		3.6	3.6	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9		
空中線直線距離R[m]		21.30	21.30	20.37	20.37	20.37	20.37	20.37	20.37	20.37		
空中線の形式		DP	DP	DP	DP	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型		
俯角[°]		80.3	80.3	79.1	79.1	79.1	79.1	79.1	79.1	79.1		
最小安全距離[m]		1.50	1.60	3.74	5.34	7.05	9.27	11.03	13.38	15.63		
強い反射物の有無		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
算出電界強度 E[V/m]		16.26	16.26	21.29	21.29	19.87	20.64	20.80	21.66	21.29		
基準値 [V/m]		230.49	216.56	116.06	81.18	57.42	45.35	38.41	32.97	27.74		
判定		○	○	○	○	○	○	○	○	○		

注 1 表中の数値は、ダミー値です。それぞれ実測値等を入力してください。また、周波数帯は、適宜追加、削除してください。

注 2 算出電界強度E[V/m]は、大地反射係数(76MHz未満は「4」、76MHz以上は「2.56」)を考慮しています。なお、電波発射源近辺にビル等、強い反射を生じさせる建造物がある場合は、当該欄に「1」を、ない場合は「0」を入力してください。

注 3 空中線地上距離[m]は、空中線を地上に投影した地点から道路、隣家との境界線等までの距離としてください。空中線が回転する場合は回転を考慮し、一番近い距離としてください。また、空中線の高さは、実際の空中線高から2mを引いた値としてください。

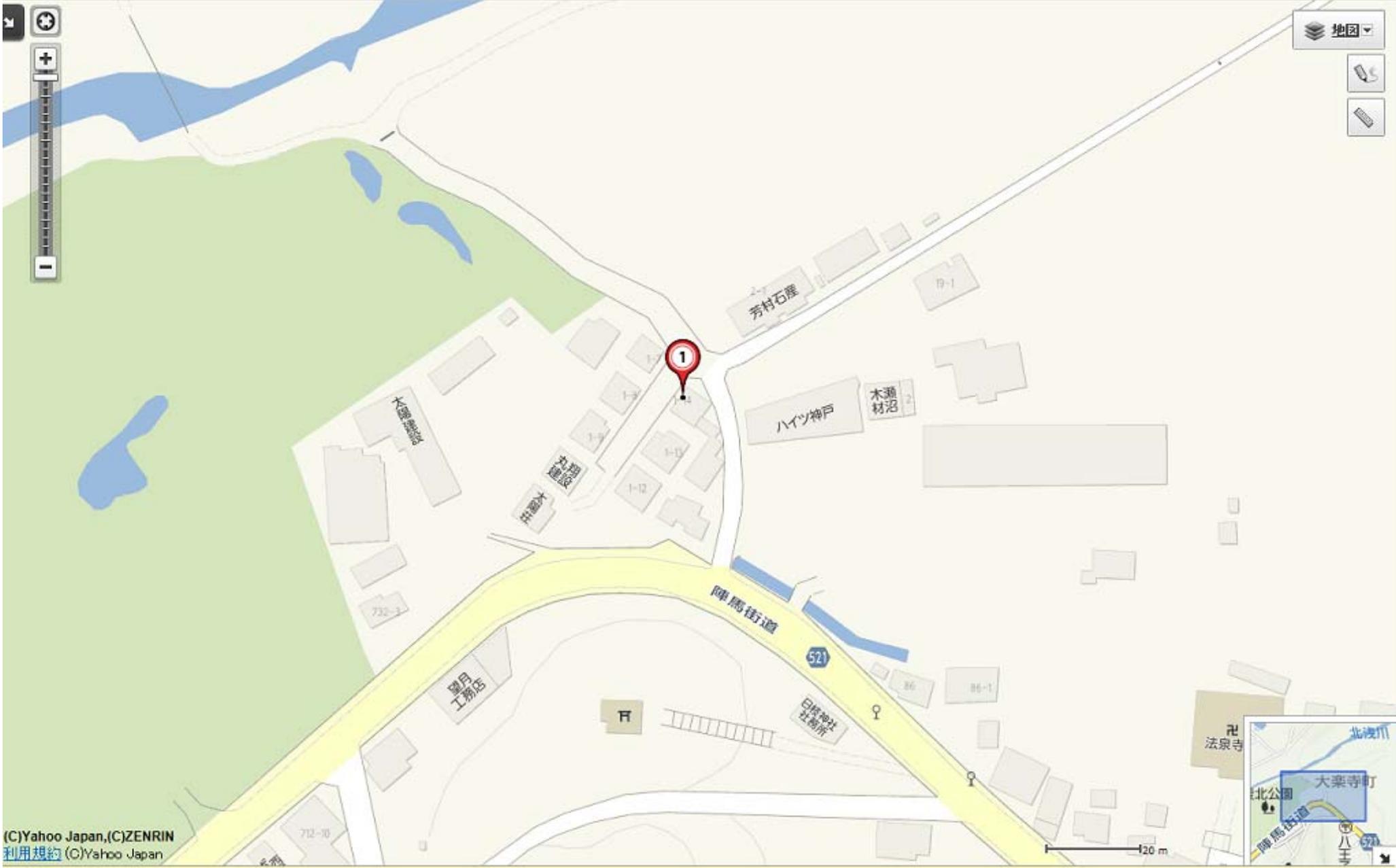
注 4 平均電力率は、電波の型式がA1Aの場合は「0.5」、J3Eの場合は「0.16」、その他の場合は「1」(組み合わせる場合は大きい数値)としてください。

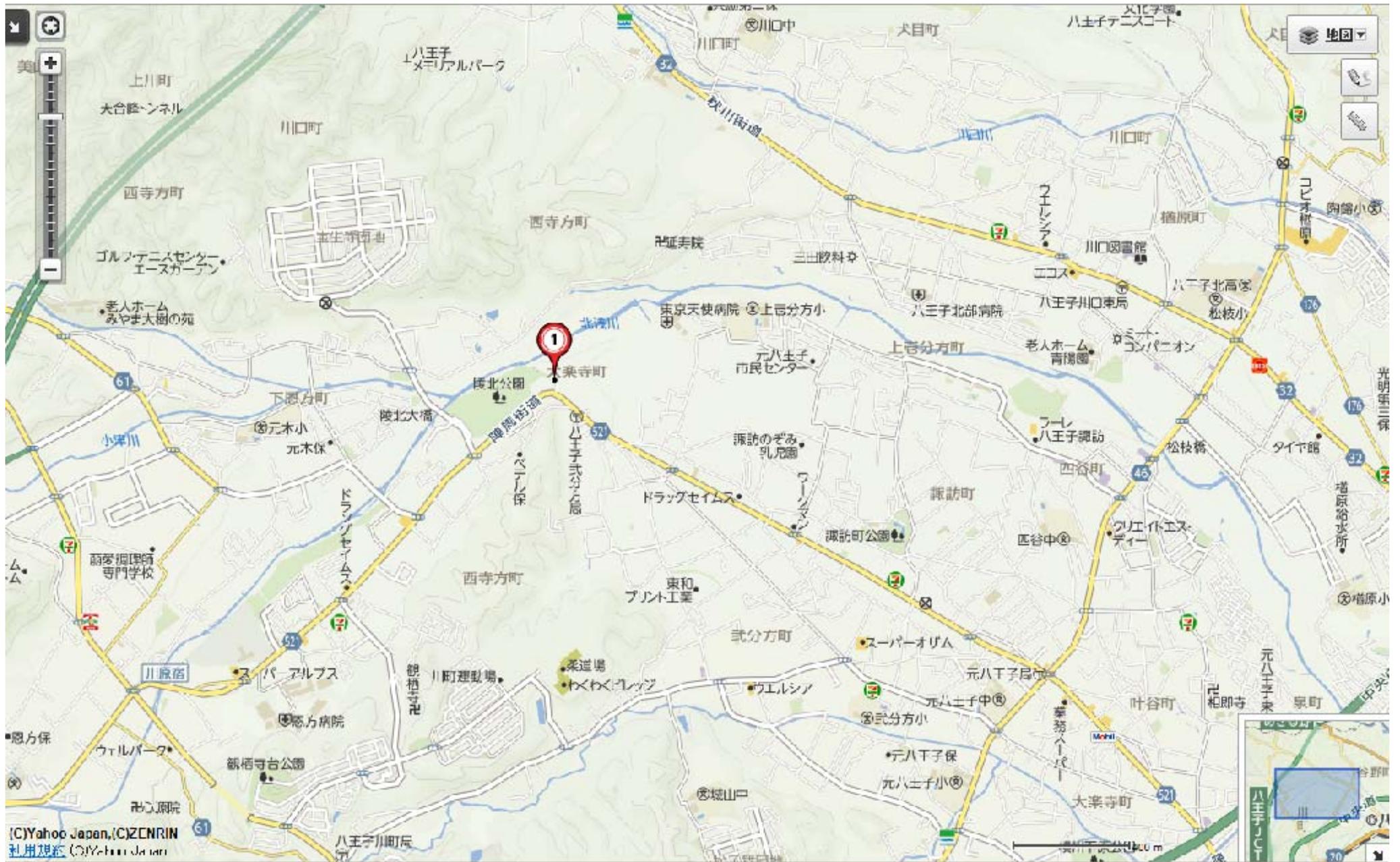
注 5 ビームアンテナの場合は、俯角減衰量を考慮することが出来ます。俯角減衰量を考慮した場合は、その根拠となる垂直面指向特性の資料を添付して下さい。また、短縮アンテナを使用する場合は、エレメントの長さ、空中線利得が記載された取説等の当該箇所のコピーを添付して下さい。

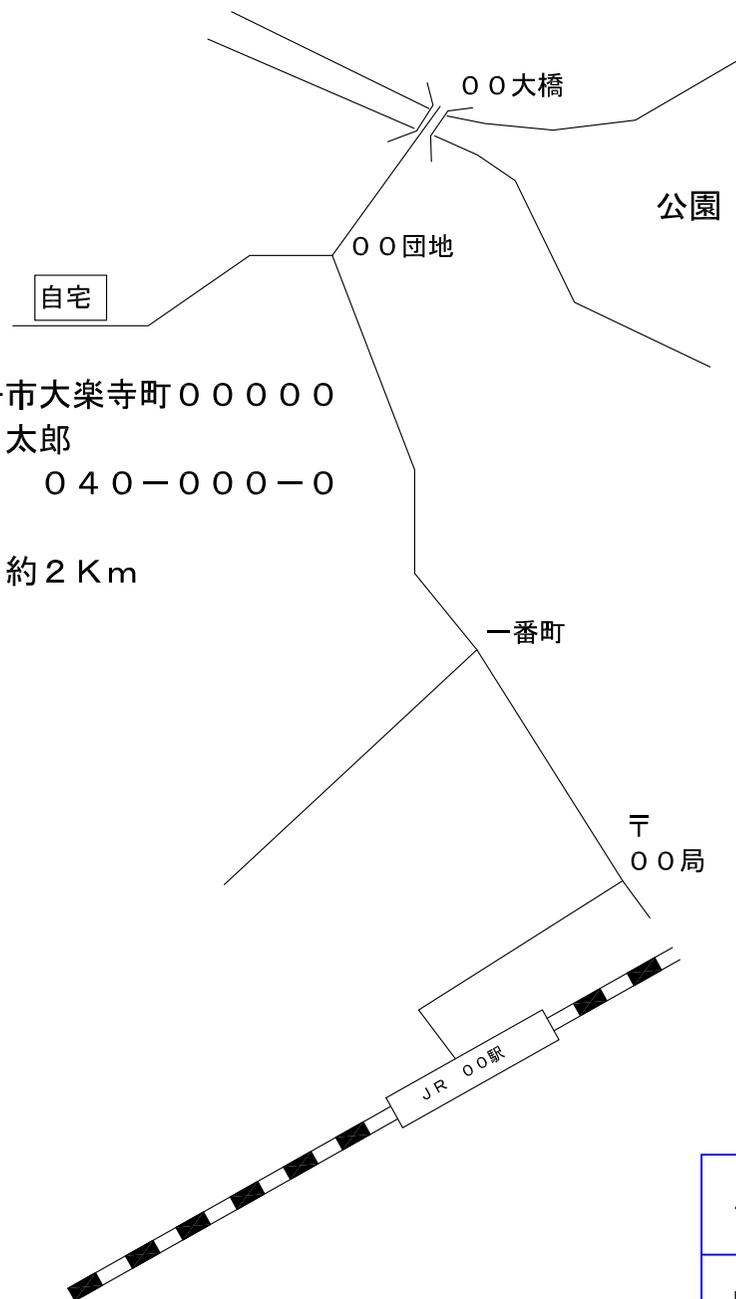
基本式: $E = \sqrt{3770 S}$ [V/m]

但し、 S [電力束密度] = $PGK / 40 \pi R^2$ [mW/cm²] P=空中線電力[W] G=空中線利得[真値] K=反射係数 R=空中線までの直線距離 [m]









八王子市大楽寺町00000
 無線 太郎
 TEL 040-000-0
 00
 駅より約2Km

N



件名：変更許可申請書類	年月日	縮尺
	平成21年2月10日	N・S
区分：最寄駅よりの地図	名前：無線 太郎	
	呼出符号：JA1000	

50MHz 帯 空中線電力 1KW 申請理由書

名前 印

私は下記の理由により 50MHz 帯を使用したアマチュア局の通信を最大空中線電力 1KW にて行いたいので、ここに 50MHz 帯空中線電力 1KW の指定を希望いたします。

記

- ・ 50MHz 帯の遠距離通信の伝播特性を追求する中で、特に F2 層の散乱を利用した海外通信成立の可能性をより高めるため。

以上

近隣TV・ラジオ受信状況調査報告

- 1 当該の東京都00区00丁目近辺は住宅地であり、高層住宅も少なくTV地上波の電界強度はかなり強い地域です。
因みに、当該地区の屋根から東京タワーは直接目視する事ができる。
(00方向、直線距離約00Km)
- 2 当該地区は00ケーブルテレビの普及で近隣の半径100m以内で約30軒を調査した所 屋根にテレビアンテナを設置してある世帯は皆無で全てケーブルテレビを引き込んでいると思慮される。
約150m離れた集合住宅では屋上にテレビアンテナが設置されてるのを確認したが、アンテナのついているのはこの1軒のみである。
- 3 ラジオ放送については、中波AM 極超短波FM 及び短波帯のいずれにおいても 電界強度は強く受信状況は大変良好と思われる。

日付 00年0月00日
氏名 0 0
コールサイン 000000

サンプルのみ

近隣業務無線設備等の状況調査報告

1 携帯電話基地局、PHS中継局(アンテナ)状況

00方向 約00m地点の集合住宅屋上に携帯基地局(アンテナ)が設置されてる。
00方向 約00m地点にNTT電話局がある。大型アンテナが設置されてる。
00方向 約00mにPHSアンテナは1箇所設置されてる。

2 消防及び防災無線関連の状況

消防署は00方向00Kmにある。
その他の防災無線関連施設は確認できず。

3 医療機関等の状況

00方向 00Kmに開業医が1軒ある。

4 列車無線関連の状況

00方向 00KmにJR00線が走ってる。
00方向 00KmにJR00駅がある。

5 警察無線関連の状況

00方向 00Kmに警察署、00方向 00Kmに交番がある。日付 00年0月00日

6 学校、公民館等の施設状況

00方向 00Kmに小学校、00方向 00Kmに公民館がある。氏名 0 0
コールサイン 000000